



だ

THE INDIA-REIYOKU

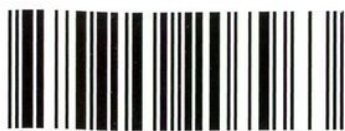
CREATED BY

タケ

じん

成年
コミック

ポリメディアックス



9784799207963



1920979010000

ISBN978-4-7992-0796-3

C0979 ¥1000E

定価： **本体1,000円** + 税

発売 株式会社キルタイムコミュニケーション

THE INDA REIJOBU

created by take - presented by kill time

communication unreal comic series

清楚可憐な乙女も凛々しい少女も濃密醜怪の
底なし沼に堕とす著者初作品集！
山賊たちのぐっど奴隷に堕ちていく獣つ娘姉妹
執拗な媚毒快楽責めに
身体が先に屈してしまう常人少女
ゴブリンや巨大オークに
白濁汁を注がれ続けるエルフ少女
寄生ふたなり化によって射結の快楽に
憑りつかれる美少女魔術師――
ファンタジー美少女たちが
メスの快楽に目醒めさせられ、
目の眩むような肉悦交尾に屈服していく！



淫堕隷辱

THE LINDA REIPOKU

CREATED BY 夕ヶ



1 竜娘墮淫 5

2 狗鳴 前編 25

3 狗鳴 後編 47

■ 森ノ中 69

孕袋 87

THE INDA REIDOKU

created by take - presented by kill time

communication unreal comic series

6 淫核虫 103

7 屍墮とし 125

8 RED EYE SYNDROME 145

9 ゲストページ 168

10 あとがき 167



どうぞお入り
ください

この中ではおめえ



こちらがお客様が
ご希望なさいました
商品

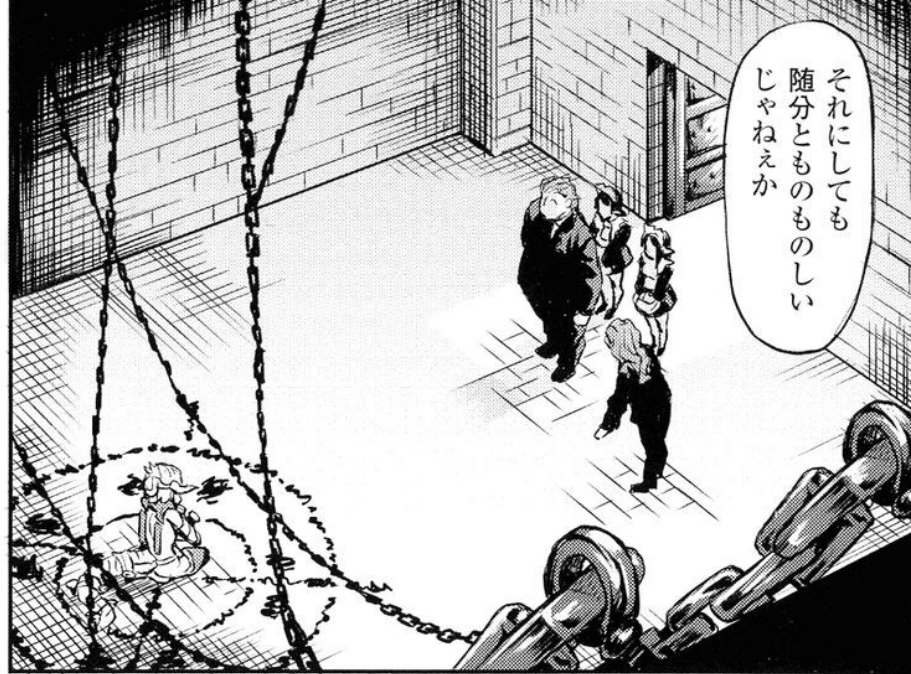
竜人雪花
でございます

竜娘墮花



ほう

こいつがか

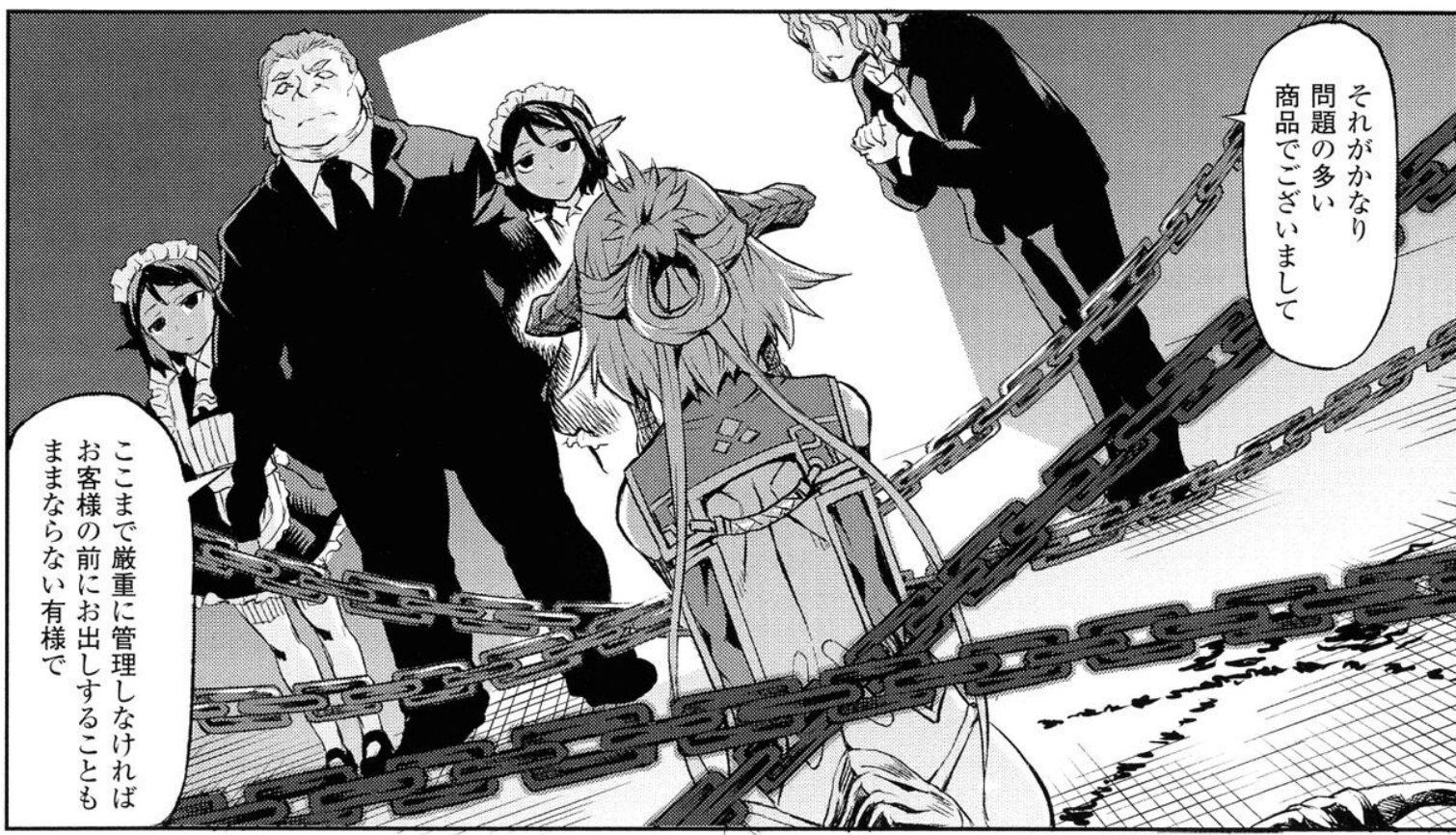


それにしても
随分とものものしい
じゃねえか



竜人とはいえ

小娘ひとりに
この有様は



それがかなり
問題の多い
商品でございまして

ここまで嚴重に管理しなければ
お客様の前にお出しすることも
ままならない有様で



とてもじゃねえが
そんな風には
見えねえな



お客様っ!?

いけませんっ
不用意に近づかれては
危険ですッ



あ?
なんだって…



なっ!?



これは
影による拘束



もうひとりの方の
侍女か

拘束を引き千切り
襲い掛かってくるとは

確かにこいつは
とんだじゃや馬だ

どうして
俺を襲った？

ふん
竜人たるわらわを
買おうなどという輩には
当然の制裁じゃ

くつくつく
いいねえ

店主

はいッ

こいつを
貰うぞ

お
お買い上げで
ございますか？

それとしばらく
部屋借りるぞ

部屋を…？

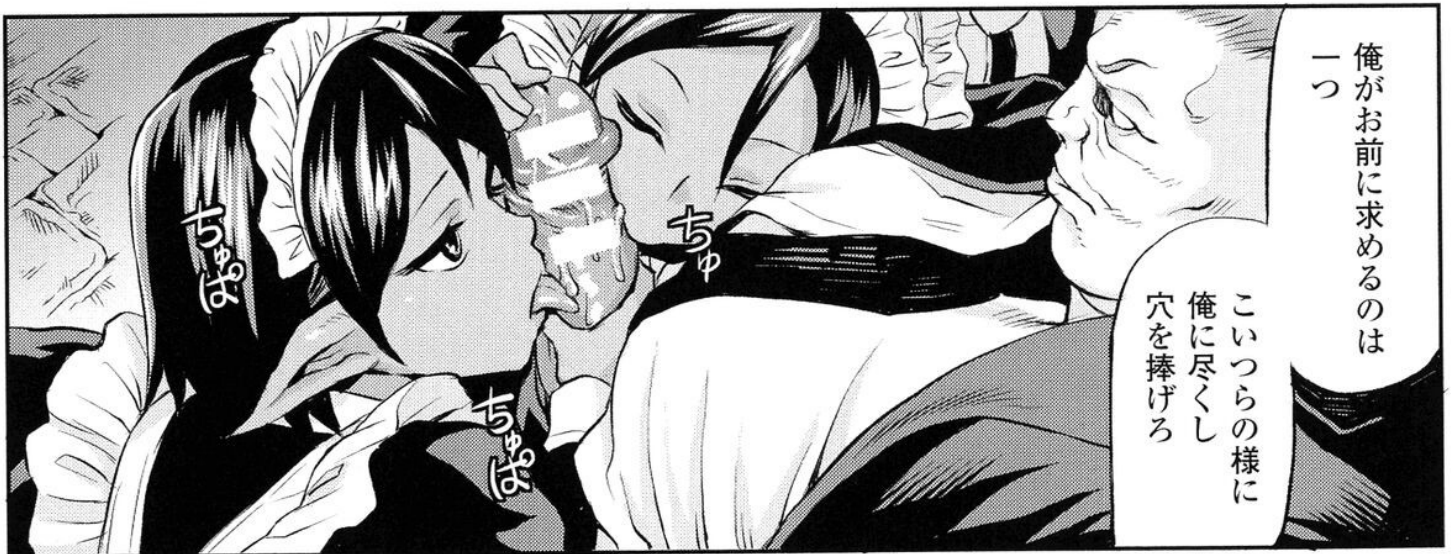
未遂とはいえ俺に
襲い掛かったんだ

手を
どけよッ

このトカゲ娘に
しっかりと躰をしねえと
いけねえからな

わらわに
気安く触れる
でないッ！！

…さて



まあその様子では
質問をするところでは
なさそうだがな

おーおー
ぐちよぐちよの
大洪水だな
そんなに汁を垂れ流して
恥ずかしくねえの

ひく

ひくん

そんな格好で縛られて
興奮したか？

ここまで
発情した雌の匂いが
ぶんぶんしてくるぜ

…ッ

はあ

まあ

白々しいことを…っ
貴様わらわの身体に
いったい何をした

何をした
…ね

今お前を縛っている
影の茨にはとある
淫呪を施してあってな

触れているだけで
淫毒が身体に
回っていき

気がつくころには
まんこから汁を垂れ流す
雌のでき上がりがって代物だ



今の

お前みたいにな

もう力もろくに
入らないだろう

くっ…

ちっ…
近寄るでない



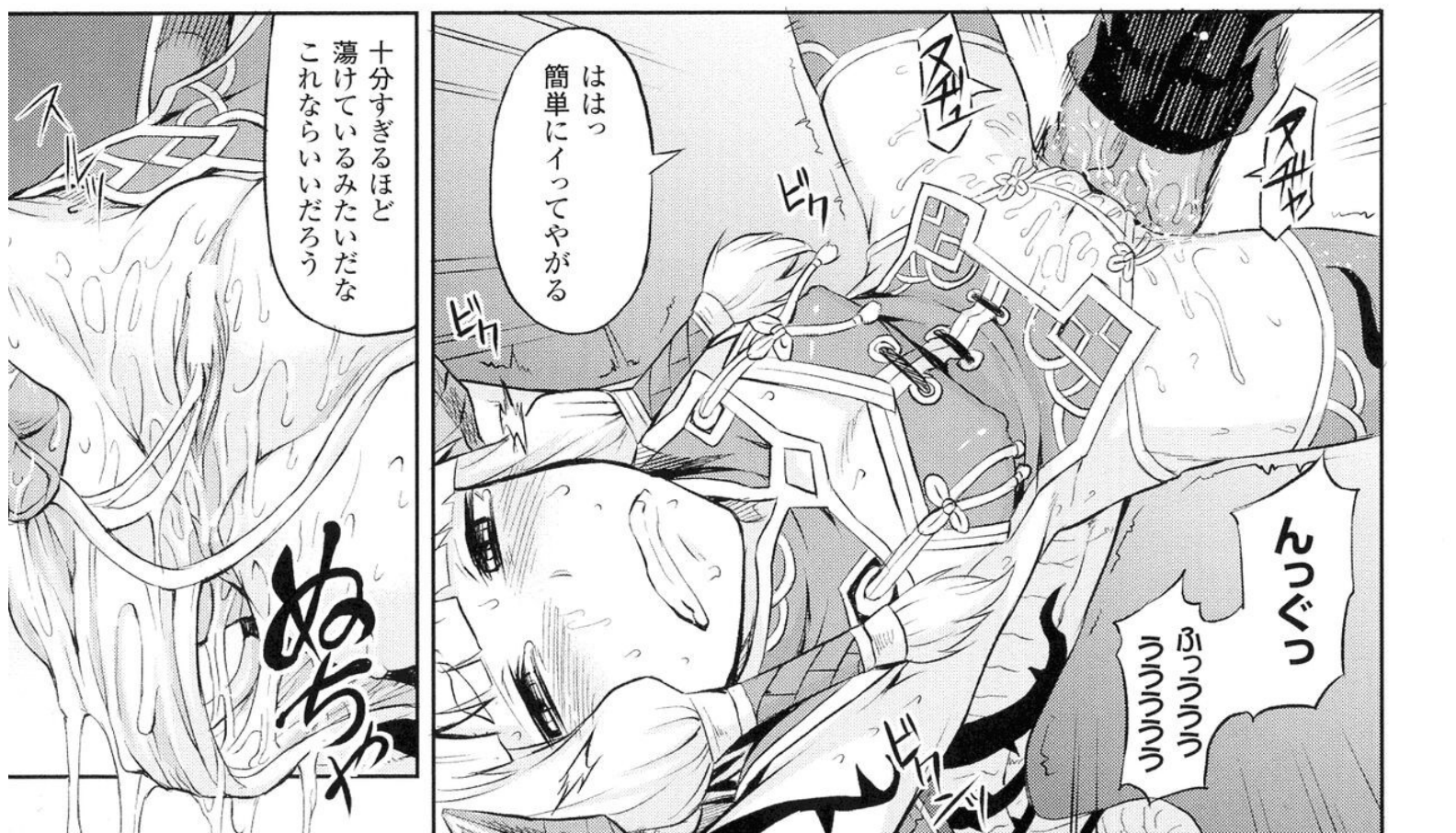
どれまんこの
具合はどうか

はあ

なっ…きさま
どこを触って

勃起したクリも
弄ってやらないとな

ひびく



ははっ
簡単にイってやがる

十分すぎるほど
蕩けているみたいだな
これならいいだろう

んっぐ

ぶっぶっ
ぶっぶっ
ぶっぶっ

ぬちゅ

破瓜絶頂なんてよ



どうだ
人間様のちんぽで
処女を破られて
イっちゃった感想は



おぬし…
よくもわらわの
純潔を…っ



許さぬっ
絶対に許さぬぞ

なに寝言
ぬかしてんだ



許す許さねえ
じゃねえんだよ



てめえはもう俺の
ちんこしごくための
穴だ

ちんこ穴は
まんこを締める
ことだけ考えてりや
いいんだ



おら射精すぞ!!
メスガキ竜人マンコ
孕みやがれ!!

おお出るっ…と
精液が入りきらず
逆流してきやがった

ぐっ…
この…っ

ゴポッ

……いくら子種を
吐き出そうと今の
わらわを孕ませる
ことはできぬ

なに…?

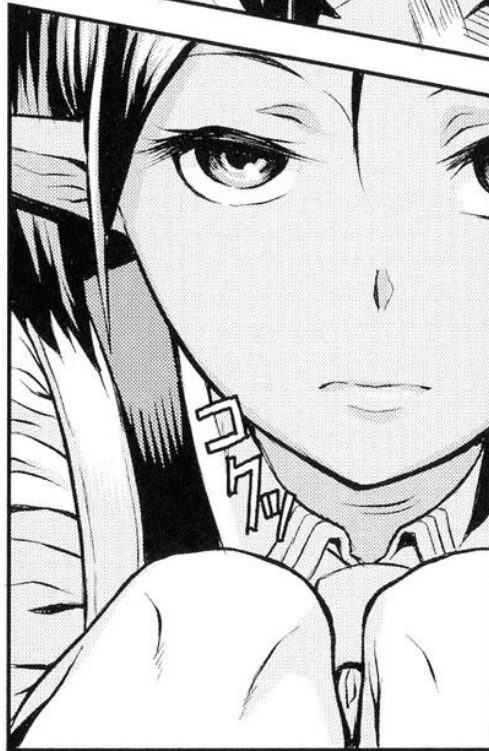
竜人族はのつがいと認めた
相手が現れることで初めて
子を成すことができる
身体になるのじゃ

ゆえに
わらわの身体は未だ
固く閉ざされておる

おぬしの汚汁など
子袋に一滴たりとて
入っっておらぬわ

そんなことも知らず孕めと
アホみたいにビュービューと
精を吐き出す様は
滑稽じゃったぞ

理解したなら
はよこの腐れちんこを
引き抜かんか肉ダルマが



お前には
ちょうど良いだろう

っ!!?

なんじゃこれは
なんなのじゃ!?

くははっどうだ
全身の神経が剥きだしに
なったみてえだろ

影が這ったところから
灼けるような疼きが

身体中に広がって
いって

子宮が疼いて
たまらない

思考が
熱に蕩かされて

どうにか
なってしまうそうじゃ

いい面になって
きたじゃねえか

ちんぽが欲しくて
欲しくてたまらねえ
って顔だ

目がかすむ

身体が求めている

アレしか
目に入らない

たまらなくほしい

ちんこ
ちんこじゃ

もう

ちんこのことしか
考えられなく
なっていく

この狂いそうな程の
身体の疼きを
どうにかするには
アレしかない

ああ
今すぐアレを挿入れて
ぐちゃぐちゃに膣内を
かき回して
ポタッ

胎の奥で種汁を
受け止めたら

どれほどの……

今わらは
何を考えておった!?

しっかりしろ
気を強く持つのじゃ

ふ……
ふざけるでない

誰が……
そんなもの
欲しがらるものか

この身がどれほど

淫毒に
侵されようとも

わらわは
おめしなぞに

絶対に屈さぬ

……くっ
はははははっ

何がおかしいっ

自分の姿を
みてみろよ

これは…
そんなっ

乳といい尻といい
ずいぶんエロい身体に
なったじゃねえか

その身体の変化
ガキを孕む準備が
できたってことだろう？

けどよ
つがいとなる相手がいないと
変化は起きないんじゃ
なかったのか？

これは
どういうこと
だろうな？

ちっ…違うっ

こんな
身体が成体化
するなどと

これは何かの
間違いじゃ

これではまるで

何が

まるで
わらわが
この男の

違うって

子を孕みたがっている
みたいではないか

こいつが
欲しかったんだろう

マンコが大泣きして
喜んでやがるぜ

おらどうした
何か言ってみろよ

乳もこんなに
膨らませやがって

お前の身体は俺のガキを
孕みたいってさ

んあ

あ

ムッ
ムッ

くそっ 放せ
わらわが
おぬしなどの子を

マンコの具合も
さっきまでとは
まるで別物だ

引き抜こうとすると
逃すまいとちんこに
絡みついてきて

ズリ
ズリ
ズリッ

押し込めば搾り取ろうと
うねりやがる

あとはその
固く閉じてる子宮
こじ開けるだけだ

ズムッ

ビュッ
ビュッ
あ
あ
あ

駄目じゃ
子宮だけは

せめて
胎だけは
守り通さねば

開くな

開くな

開くな

開かないでくれ

いま子宮に種汁を受けてしまえばわらわは――

くくっ
子宮陥落だ

いくぞっ!!
子宮内に
直射精しだ
孕めっ!!



嫌じゃ人の子など
孕みとうないいやっ

いやあああ
あああ



種付け完了だな

簡単な躰をする
つもりだけだったが
まあいいだろう



これでお前も正式に
俺の収集品の一つだ

つぎは...
わらわが...

わらわ...わが
こんな男の
子を産むなど...

いいガキを産むんだな
女だったら一緒に
抱いてやるよ

終

ルールは
簡単だ

あそここの蠟燭が
見えるか

あれが燃え尽きるまで
俺の相手をしてもらう

前編

狗鳴

その間イカなければ
嬢ちゃんの勝ち

イッた場合は
仲良く俺たちの
性欲処理用牝犬だ
いいな？

お姉ちゃん

姉妹ふたり共
解放してやる

ただし

そんな不安そうな
顔しないでスー

お姉ちゃんは
大丈夫

どんな目にあっても
あなたは必ず守るから

30分前

ああ!?

てめえ自分の
立場が分かって
ないみたいだな

おい
うるせえぞ

あ頭
すみません

昼に襲った商隊に
いた奴隷なんです

私達姉妹を
解放しろなんて

舐めた事ぬかし
やがるもんでつい

なあ獣人の嬢ちゃんよ
てめえらはもう俺達
山賊の奴隷なんだよ

身の程をわきまえて
大人しくしたほうが
後々のためだぜ

私はどうなってもいい
なんでもする

だからせめて
妹だけでも

妹のために
どうなっても
いいか

泣かせるねえ

頭!?

いいぜ
嬢ちゃんの願い
聞いてやるよ

ただし条件が
あるがな

てめえ
いいかげんに

待て

条件…

お姉ちゃん…

妹がスーが助かるなら
どんな条件でも飲もう

そう固くなるなよ
無理難題を
ふっかけるつもりは
ねえ

ひとつ俺と勝負
しようじゃねえか

さつき
教えたとおりに
しっかり挨拶しな

嬢ちゃん



おら
早くしろよ

声小せえぞ

どうか…私
セリアの

もっと腰
突き出せ

おお
いいぞいいぞ

はした…ない
牝…犬マンコ

あまり毛深く
ないんだな

もっと
ボーボーかと
思ったぜ

ご覧になって…
くだ…さい

おい手だ手
手使ってまんこ
拵ろよ

良いケツだ
たまんねえな



随分キレイな色
してやがるじゃ
ねえか

あまり
使ってねえのか

指穴に
突っこめよ



……お前

まさか
処女か!?



ああ!?

男のモノなんざ
見慣れてるだろ
何を驚いて…



さてまずは
口で準備して
もらうか

きゃ



相当大事に
守ってきたみたい
じゃねえか



その歳で
処女とは

くはっはは
おいおいまじかよ



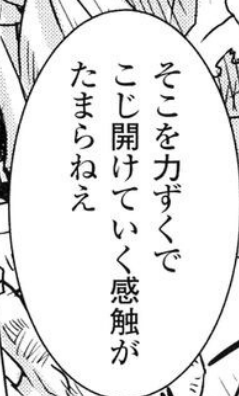
いい声で
鳴いてくれよ



多少前戯で
楽しもうと思っていたが
気が変わった

早速
いただくとするぜ



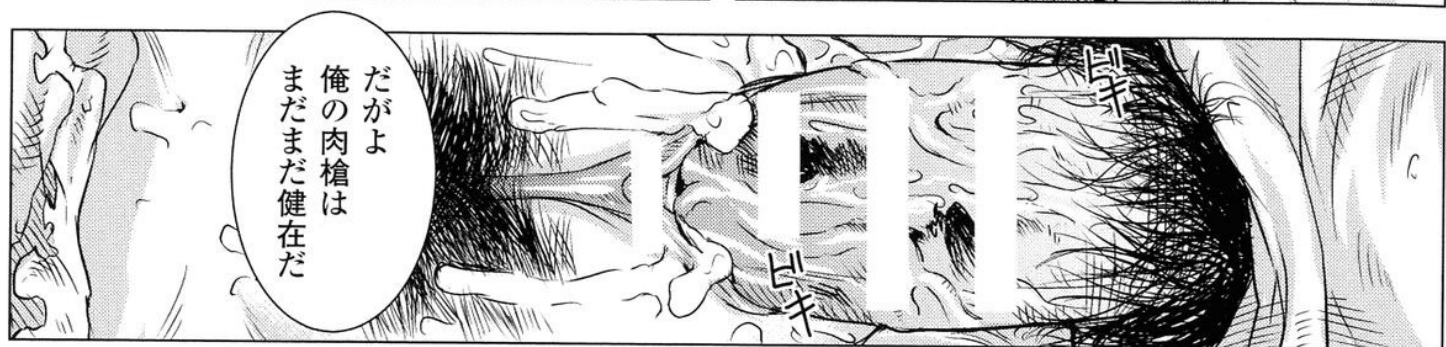


くそっ
我慢できねえ

出すぞ

おら
一発目だ











そんな腰砕けの状態で
イッてないなんざ

誰が
信じる？



おいおい
嬢ちゃんよ

いくら
妹が大事だからって
嘘は良くねえ



なんと言われても
…わたしは

イッてはいない



チャンス
助かる機会は与えた
それをモノに
できなかったのは
お前だ

諦めて大人しく
結果を受け入れる
ことだな

そうすれば少しは
可愛がってやるからよ

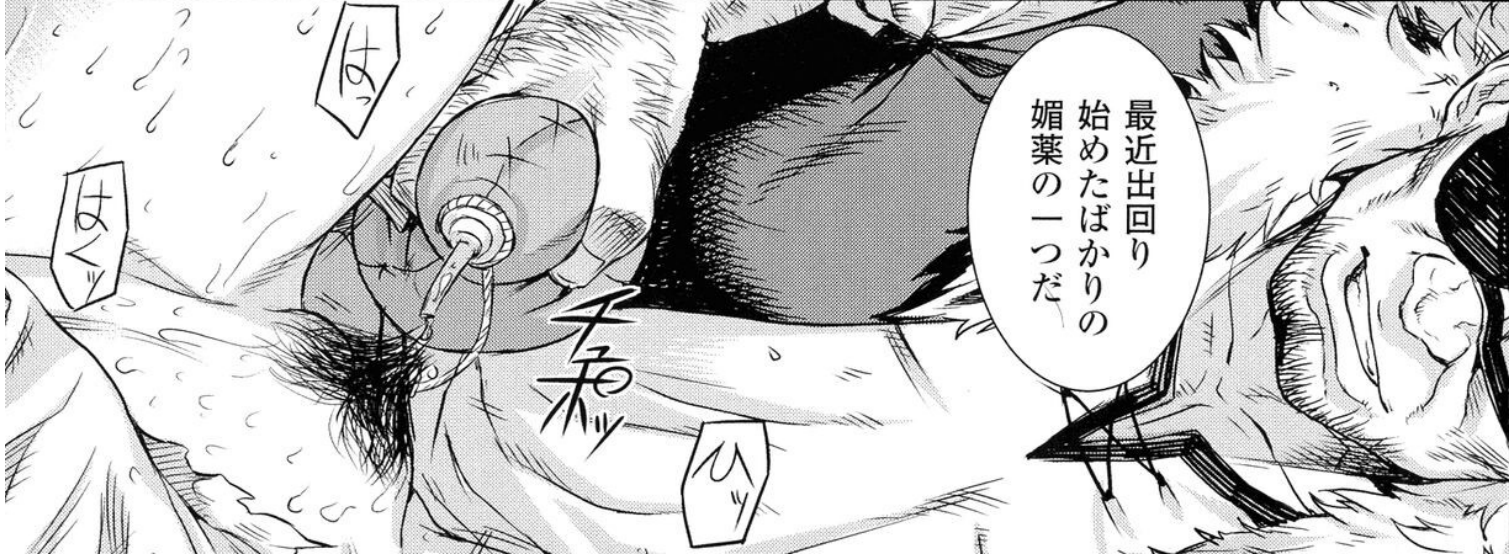


な…
なんだそれは

なにを



…後悔するぜ



その効果は
凄まじいの
一言でな

こう
軽く触れる
だけで

あ

ツ
ー!
!?

ああッ!!

とまあ
こんなもんだ

な…に今…の!?
触れた所から
熱が身体中に
広がって…

だからこういった
使い方もできる

そしてこの薬
女にしか効果が
なくなてな

ダメ
触れたただで
ああなのに
そんなモノ
挿れられたら

まって…



待たねえよ

いあお

熱い!

おお

ひぎい

熱い熱い

おまんこが…
子宮が焼ける
身体が燃えている
ような



あひっ

あへえお

うおっと
抜けちまった

こんな快感…ッ
おかしくなる

おひい

ひぐ



イツ

イツだ

イギまじた

イツたイツたの
イツだがらあ

もう
抜いて

よ

おあ



いいのか
コレ抜いたら次は
妹の番だぜ

なんでもいい
抜いてくれるなら
どうでも

いいです
もういいです

妹なんて
どうなっても
いいからあ

くっくくく
ひでえ姉ちゃんだな

だから早く

早く
抜いてよお

ヌいてやるよ

そこまで
言うなら
仕方がねえな

お前の中で
たっぷりとな

いややっ

いやあああ

もう

やだっ

イギたくない

もう

イキたくないの

いやっ

あゐ

無様な
アへ顔晒して

あゐ

おしっしょんぞ

牝犬アクメ
極めやがれ



おいどうだ

あー
これは完全に
意識飛んで
ますね

潰れた蛙
みたいに
なってますし

そうか
わかった

気がつくまで
相当時間かかり
そうですね

さて…
どうするか

反応がない奴を
犯しても
ツまらねえしな

コイツが起きるまで
妹ちゃんひとりで

頑張ってもらおうと
しようか

ここは

続く

スーが妹が
生まれたのは
私が六つの時

初めて腕に抱いた
その身体は
とても小さくて

私が守らなきゃと
思ったことを
憶えている

：だから
最初はその光景が
理解できなかった

いや頭の片隅では
わかってたのだと
思う

けれど心が
それを認めることを
拒んだ

まるで石になったように
動かないからだ

泥のようになった
思考の中で
繰り返しひびく

幼い日の誓いが
そんな私を
責め立て続ける



姉ちゃんが
お目覚めみたいだぜ



妹ちゃん



なんて声をかけたら
いいの?
大丈夫? ごめんなさい?

そんなこと
言えるわけない
じゃない



わたし...
その...



ああ...
スー

お姉ちゃん

ねえ

こんないいもの
ひとり占めしよう
なんて

……スー?

お姉ちゃん
ずるいよ

わたし
これ大好きに
なっちゃった

おちんちんって
キモチイイね

ひとりじめ
……ずるい

え……
なに……

あの娘は
いったいなにを
言っているの

でもずるいって何?

わわっ

よっとちょっと
向こう行こうな

私が気を失っている間に
いったい何があったの

私を責める言葉
ならまだ分かる

いいです
もういいです

薬でおかしくなっ
ていたとはいえ
私はあの娘にひどい事を
言ってしまったから

何なんて
どうなって
いいから

到着

わ

わけわかんね
って面してるからな

妹ちゃんがどんな風に
チンコ好きになったか
教えてやろうと思ってな

ほらまんこ広げて
説明してやんな

え…わたしが

でも

モジ

なに
はずかしがつてる

上手く
説明できたら
たっぷりかわいがって
やるからよ

うるる

うん♡
わかった♡

おねえちゃん…
見えるかな？

スーのおまんこに
おちんちんが
入っているところ

お姉ちゃんが
寝ちゃったあとに
大人にしてもらったの



痛かったけど…

何回も

はあ

おまんこして
もらっているね

は

くちゅ

くちゅ



お腹が…んっ
キュンって

ちゅ

くちゅ

くちゅ

…い

…ちゅ

なって♡



それに♡

この…あ♡

おまんこ…んっ♡

いじ…るのっ♡

びゅ

ぶ

んゅ

くちゅ

くちゅ



きもち…

いい…あ♡

だ…

だめっ♡

あ♡

きゅ

しゅ

ぶ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ

そんなに
ずぼずぼっ

したらあ
しゃべれっ…

あ♡

あ♡♡♡











うん

だってわたし
今しあわせだよ

こんなに
おちんちんに
いっぱい囲まれて

おまんこ
ズポズポされて
気持ちよくなって

しあわせ

だから
お姉ちゃんも一緒に
気持ちよくなる

そしたら
わたし嬉しい

お姉ちゃんのこと
大好きだから

…ああ…もう
わたしの守りたかった
スーは…いないんだね

でも…
それでも…

まだそう
言ってくれるなら

私が気持ちよくなる
ことで

おっ自分から
腰振り始めやがった

スーが喜んで
くれるなら私は

うあッ
なんだこれ
膣がすげえうねって

やべえ
こんなのっ…

でるっ



な…これ

今までと…
ぜんぜんちがう



気持ちいいのが
身体中に…広がって



お腹の奥
熱い

イッ…くっ!!
イッてる



もっと

もっと
気持ち良く

一緒に幸せに
なろう



これが…
そう…なの?

お姉ちゃん
気持ち良さそう











これから

あーやった
やった

玉の中
すっからかん
だぜ

おい最後の奴
片しとけよ



げっ俺が
最後かよ

男達の慰み者になる
日々が
始まるのだろう

しゃーねーな
なら最後に
顔にぶっかけるか



マーキングだ
くらいやがれ

それをスーが
望むというなら



どこまでも
一緒に堕ちていこう

それがわたしの
幸せだから

終



お

発見

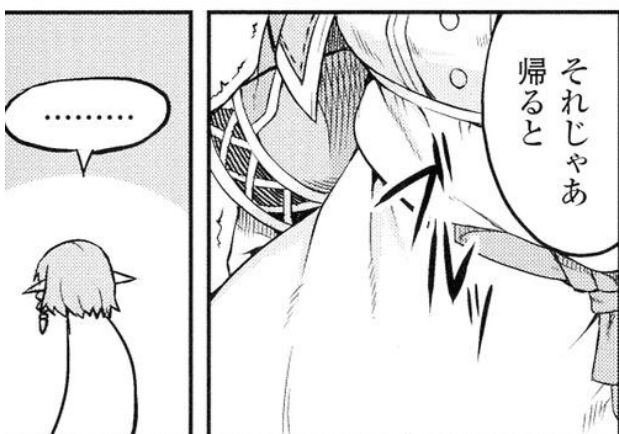


ヤマタケ ヤマボウ
カグの実が10に

それと
プッカの葉っと



うんうん
取り忘れるはないね
お使いしゅーりよー



それじゃあ
帰ると



木ノ中

ガサ

ガサ

これで
最後かな



ふう
…この辺なら外からは
見えないわよね

早く
済ませちゃおう

キラッ
キラッ















なんで
どうして

まって精液
精液出さないと
赤ちゃんできちゃう

そんなまたっ

ひん!!



んんっ!!

私がこんな目に
遭わないといけないの

なにっ!?
うそっ!?
そっちお尻

だめえっ

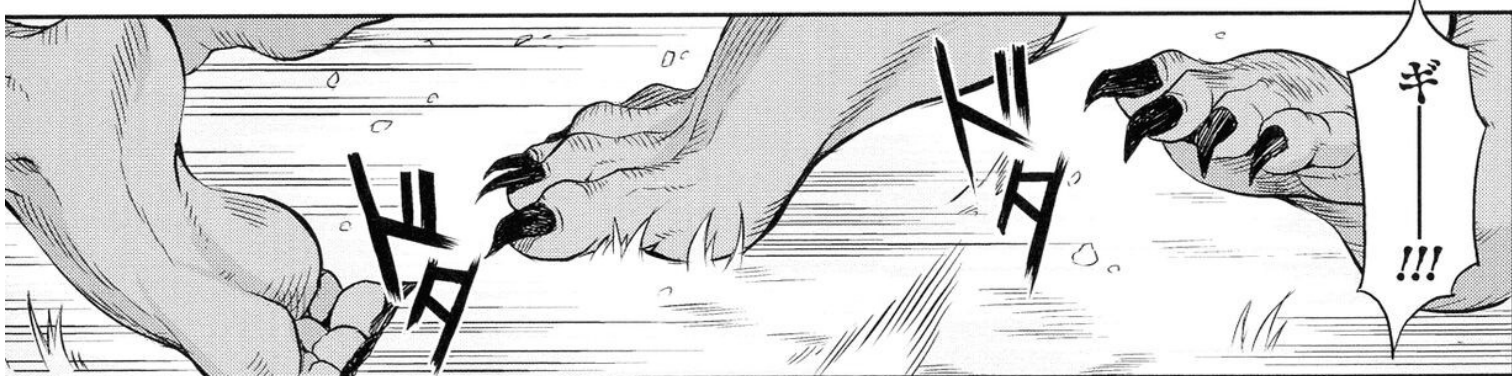
んぐっんおっ

誰か
誰でもいいから

おぼっ

おぐっ

こんなのいや
助けて















苦しい
痛い

あぁっ

お腹のなか
グチャグチャに
押しつぶされて

いあっ

あぐっ

おっ

息ができない

んぶっ

これ入っちゃ
いけないところまで
入って

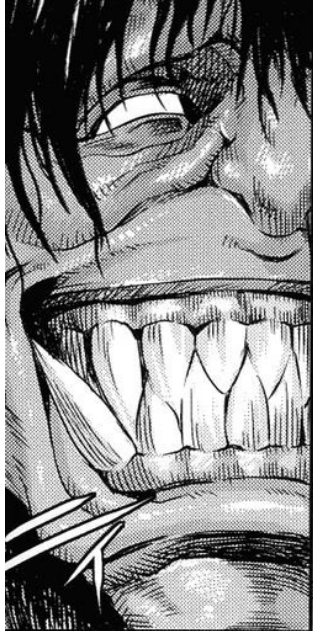
あ...

あ

ビクッ

ビクッ





晩御飯あの子の
好きな料理だって
言ったのに

このままじゃ
冷めちゃうわよ

いつものこと
ながら帰ってくるの
遅いわね

まったく今日は
どこで道草
食ってるやら

まそのうち
帰ってくるでしょ

いつもみたいに
泥だらけの格好で

ばつの悪そうな
顔してね



帰ってきたら
すぐ食べられるように
ご飯温めなおして
おきましょうか

まったく
世話のやける子
なんだから

END

孕袋

きや

あっ...やめっ

えっ...いや
なにこの
ヌルヌルしたの

いやっやっ
放してッ

そんなとこ
触るなっ

ヤダヤダヤダ
気持ち悪い

この
こっちくるな

やッ

あ

ああ

ルフィーどこ
返事して

かくれんぼは
お終い

早く帰らないと
また母様にこっぴどく
しかられるよ

ルフィー?

暗くなってきたし
そろそろ帰るよ

まったく
あの娘ったら
どこにいたんだか

ん?

あれ?

あそこに
落ちてるのって



やっぱり



ルフがいつも
つけてるやつだ



これがここに
落ちてるって
ことは

この中に隠れてるん
だろうな



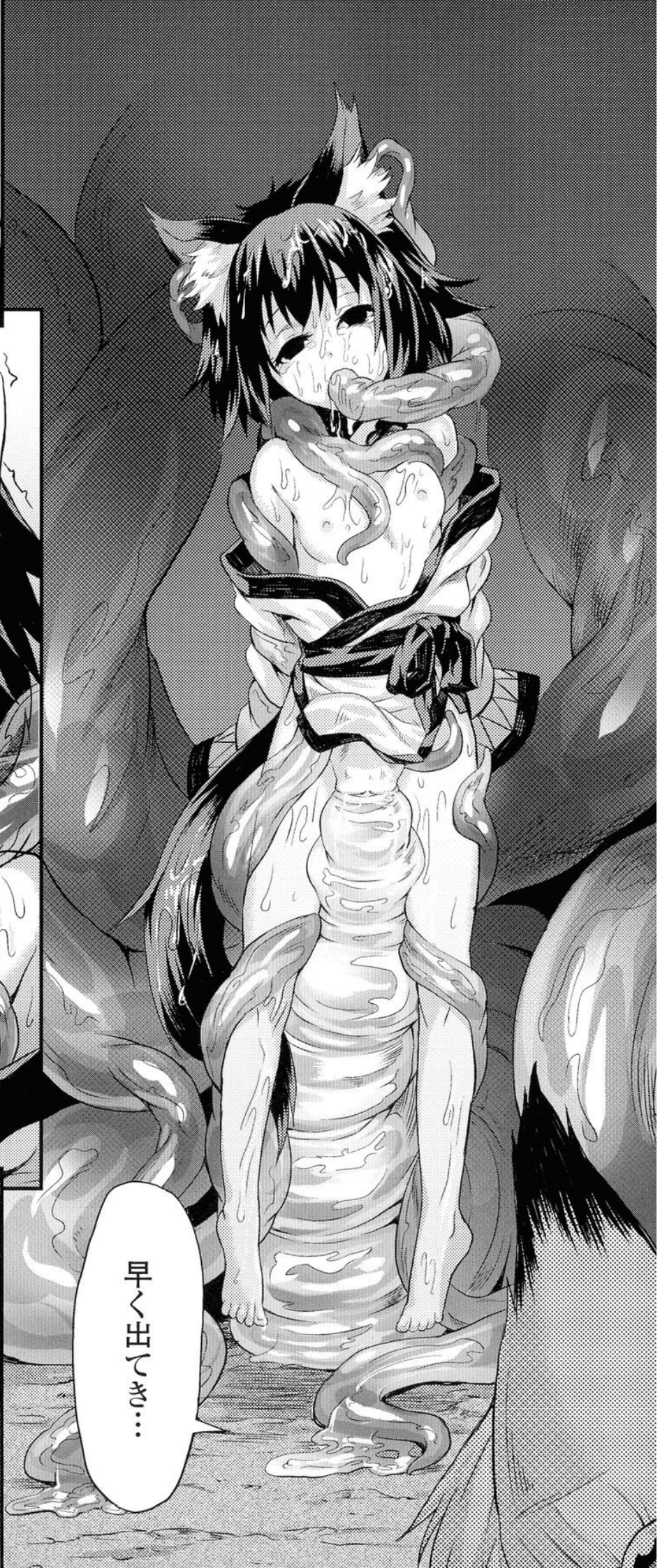
ああもう
あの娘ったら
こんな所に隠れて



ほらルフー
帰るわよいるんでしょ



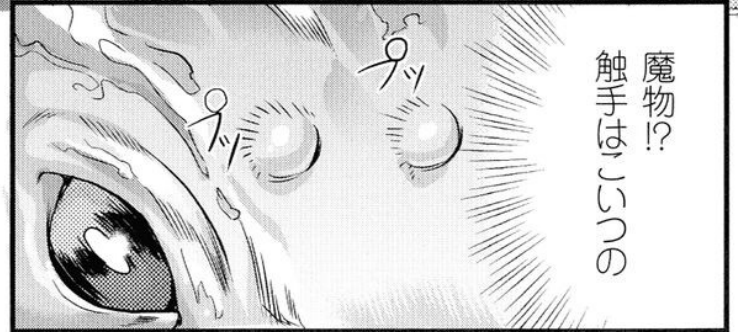
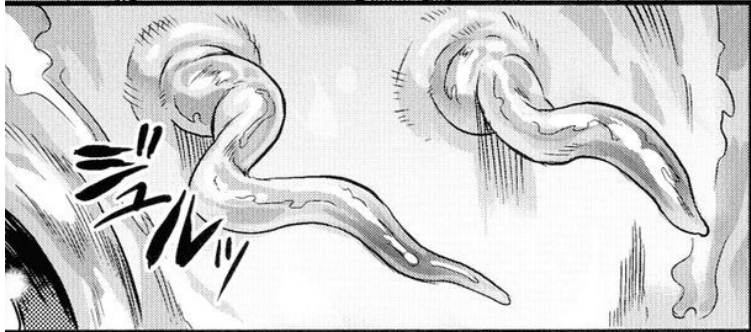
かくれんぼお姉ちゃんの
負けでいいからさ
お願いだから



早く出てき...

え...あ

ルフ...?
何...してる...の





なんでそんなところに――



やめ…

いや…触手が顔に



やめて

私もルフみたいに
犯されちゃうの!?



ひっ!?!
耳の中に



気持ち――

あひッ



いやこれ
気持ち悪い

おッ

グチヨグチヨって
音が響いて

あッ

うそ頭の中
かきまわされてる

あッ



な…に…

あッ

おっ♡おっ♡

あ
あッ

今の感じ



あッ

こんな…ヘンヘンだよ

お腹の奥が熱い
身体が…敏感になって…



…だめよく分かんない
頭がボーッとする

はッ



…イッた？
そんな…
今イッたの？



グイッ

あ…だめ

そこ…はっ



ドロッ

ニル
ニル
ニル





だって
こんなに

はっ
はっ

あ...の
キタ...

気持ちいいんだもの



んん

グッ

グッ

グッ



たくさん昇って

グッ



ああ
くるきてる

グッ

ドクン
ドクン

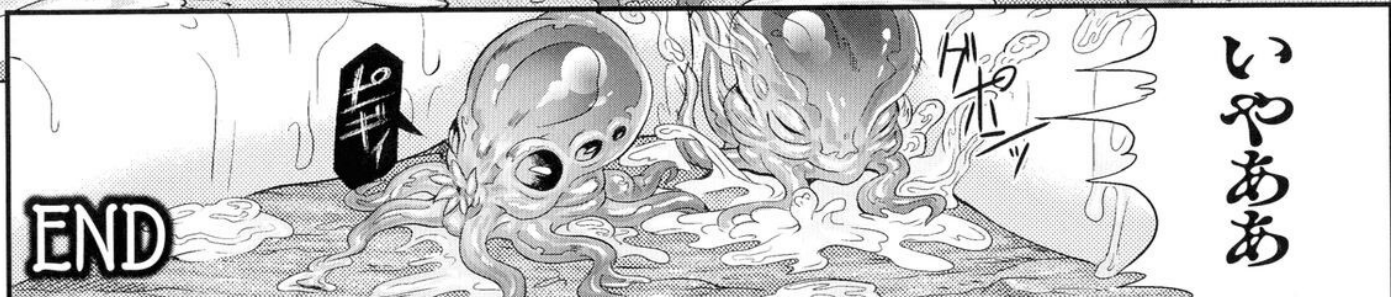
グッ

ドクン
ドクン



だから
もっともっと
気持ち良くして

だから
もっともっと
気持ち良くして





フレイムランス
炎槍

ファイア
射出

淫核虫

天才魔術師(自称)
ファム・グレニス

さすが私ね

んっ

ここまでで
マッドマンが12
ガーゴイルが2

それにさっきの
ゴーレムが1…と

ここ数ヶ月
多発している
失踪事件

いくら「土魂」の
二つ名持ち錬金術師の
工房とはいえ

警備にしては
戦力過多

亜人族を中心に
年端もいかない少女が
次々と姿を消している

ということは

ここによっぽど
見られたくない何かが
あるっていうことよね

…これは
アタリかな

事態を重く見た
ギルドが冒険者へ
依頼を発行

半径は一〇〇

深さは
一〇もあれば
十分かな

依頼を受け
現場に残っていた
魔力の残滓を
手がかりに
ここへ辿り着いた

錬金術師
「ウラヌス・リュゼ」
土魂の二つ名を拝する程の
優れた術師である反面

何かと黒い噂がついて
まわる人物でもあるとか

解析！
アナライズ

開始——
ラン

今までは尻尾を出さず
上手くやっていた
みたいだけど

私に目を
付けられたのが
運のツキね

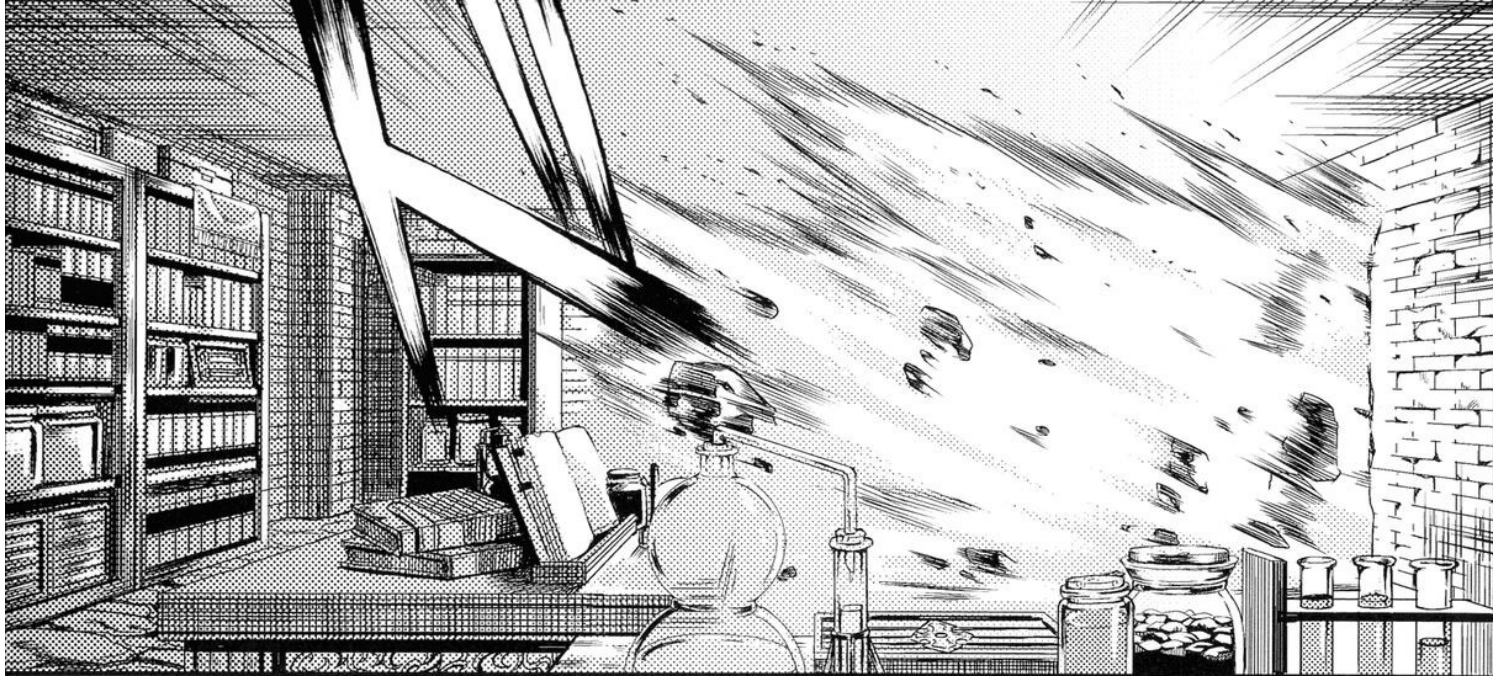
見つけた

まずは
失踪した娘達を
探すのが先ね

この先の通路
分岐が1つ…2つ…
部屋が…2…3

途中何体か
使い魔がいるけど
問題ないレベル

この中から
怪しい所は…



この程度の偽装で
私の目を欺こうなんて
甘い甘い

って…あれ

誰もいない…



部屋…
間違えたとか？

いや私に限って
そんな凡ミスは…

……
ここに連れさられた
娘達が捕まっていると
思ったんだけど

さあ
この天才魔術師
ファム・グレニス様が
助けにきたからには
もう大丈夫よ

あなた達
逃げる準備を…

あそこの棚にあるの
禁制品指定の
クアルグの葉
じゃない 持つるだけで
禁固刑モノっていう

あ
こっちは
もしかして
宵闇の雫!?

図鑑でしか
見たことないわよ
お宝の山じゃない
この部屋



これは
私に無駄足を踏ませた
お詫びとして

もらっておいて
……

!?



あ
ちよっと…何!?



どこ触って…
あっ…

ひゃ
この…
エロ触手



好き勝手
触ってんじゃー

これはこれは



……
油断したわ

いくらレアな
お宝に気を取られて
いたとはいえ

こんな罠に
ひっかかるなんて

どうやって
抜け出そうかしら



こんな
かわいらしい
お嬢さんとは

あの格好は
錬金術の…
ということは
こいつが

ずいぶんと
工房が騒がしいので

少々驚き…

おや

お楽しみの最中
でしたか

いったいどんな鼠が
潜り込んでいるのかと
思えば

これはお邪魔
でしたでしょうか？



……ちよつと
探し物をね

探し物ですか!?



来訪を知らせる
ノックにしては
少しばかり

強すぎるように
思いますね



わ…わたしも
土魂なんていうから
どんなゴツい奴かと
思えば

落ちつけ私…
ここは会話で
時間を稼いで



なんとか隙を
ついて触手を
振りほどけば
ははは
よく
言われますよ



淫核虫

昔ある国で
拷問用に作られた
寄生生物ですよ

最近とある筋から
入手することが
できましたね

一見はただの肉の
塊にしか見えませんが
近くに女性がいることを
察知すると

このように

口を開いて
その名が示すように
陰核に対して寄生を
始めようとしています

口内にある
突起と触手を用い
昼夜問わず
責め続け

分泌される粘液の
強力な催淫効果と
相まりどんなに
訓練された間諜でも
半日も経たず
口を割ったとか

抵抗は無意味ですよ
その触手「魔力喰い」でして
その状態では初級魔術すら
発動できません

先ほどから魔術を
使おうとしています
が
発動しないでしょう？

まだ手があるなら
早くした方が良いでしょう

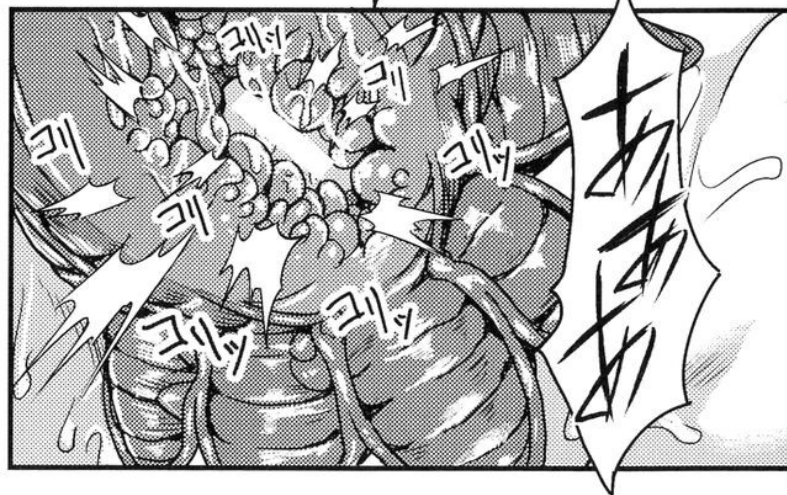
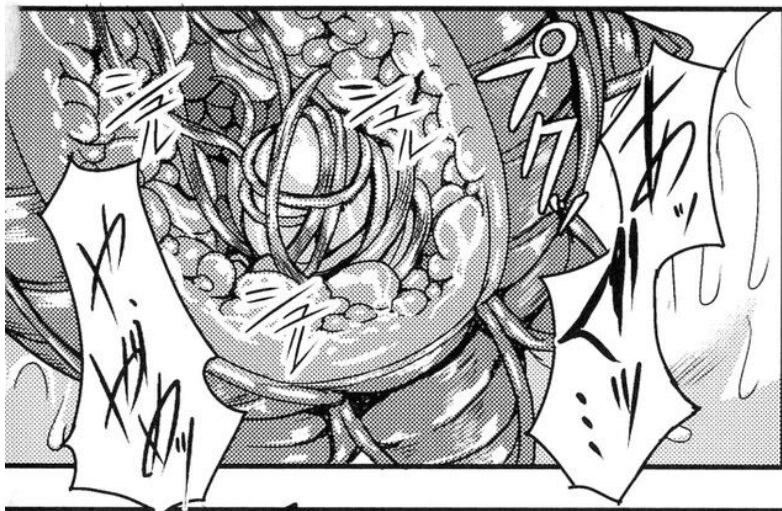
あ…

一度寄生させると
外すことが
できませんから

そう言っている間に
準備ができた
みたいですね

あっ

ちよつと



どうです？
快楽によって狂い死ぬ
者もいたという
淫核虫の責めは？

その虫は私が
手を加えた特別製で

どうです？
快楽によって狂い死ぬ
者もいたという
淫核虫の責めは？



その虫は私が
手を加えた特別製で



何…魔力が
虫に吸われて…



責めを与える
だけではないですよ

あづ…



う…そ…



なによ
これ…

おちんちん…
生えちゃった…

魔力を吸収する
ことによって
男根化

射精という形で
粘液を回収しやす
くしたのですよ

淫核虫の粘液は
良い媚薬の原料に
なりますから

ここまで
大きくなったのは
初めてです

うるさいっ!!

男でも

それほど立派な
モノはなかなか

殺す

アンタ絶対
殺してやるっ!!

怖い怖いしかし
その状態になったなら
もう拘束する必要も
ありません

解放して
あげましょう

油断したわね

魔術さえ使えれば
アンタなんか

穿て

炎槍
フレイムランス

発
ファイ

え…なんで

あ…
何ッ…!!
イヤッ

私の手おちんちん掴んで

出っ…

出るッ!!

そんな
コスツたりしたら

だめっ
放して







オマソコで
何回イッても

今度は

ま...またっ

射精できないから
快感が溜まって
いくだけで

ちゅッ

イク直前の状態が
ずっと続いて

イクッ



こんな...

頭おかしく

出て
出させて

お願い...

射精...

させて...

か...げ...?



ご苦労

なんで今
そんな娘を

いつたい
何を考えて

警備に戻れ



おや
その状態になっても
まだ周りを見る
余裕があるとは

この娘が
気になりますか?



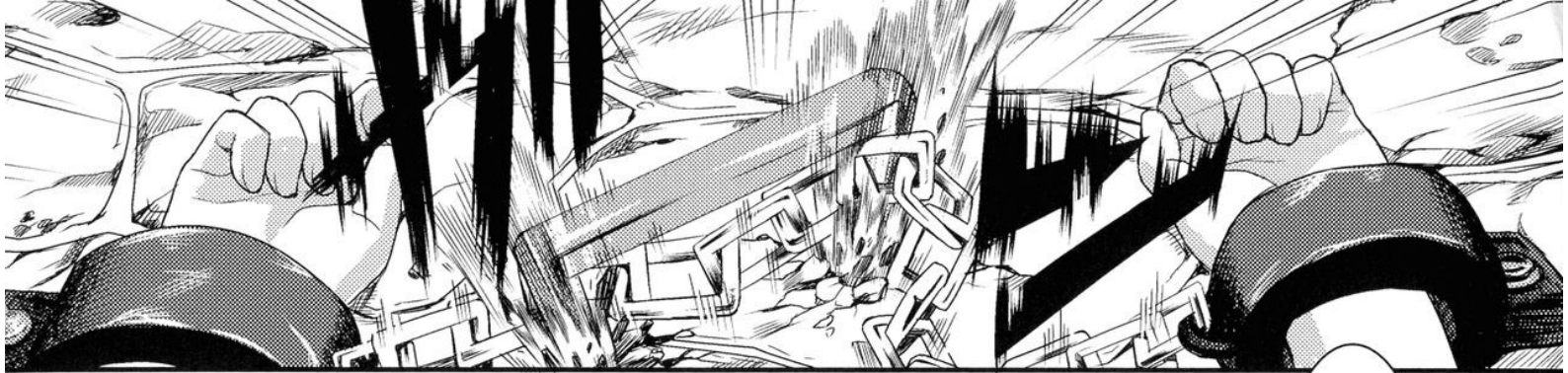
ゴーレム!?

どうして!!
アイツが呼んだ?

何か担いでる
あれって...まさか

行方不明に
なっている

亜人族の娘?



さあどうぞ

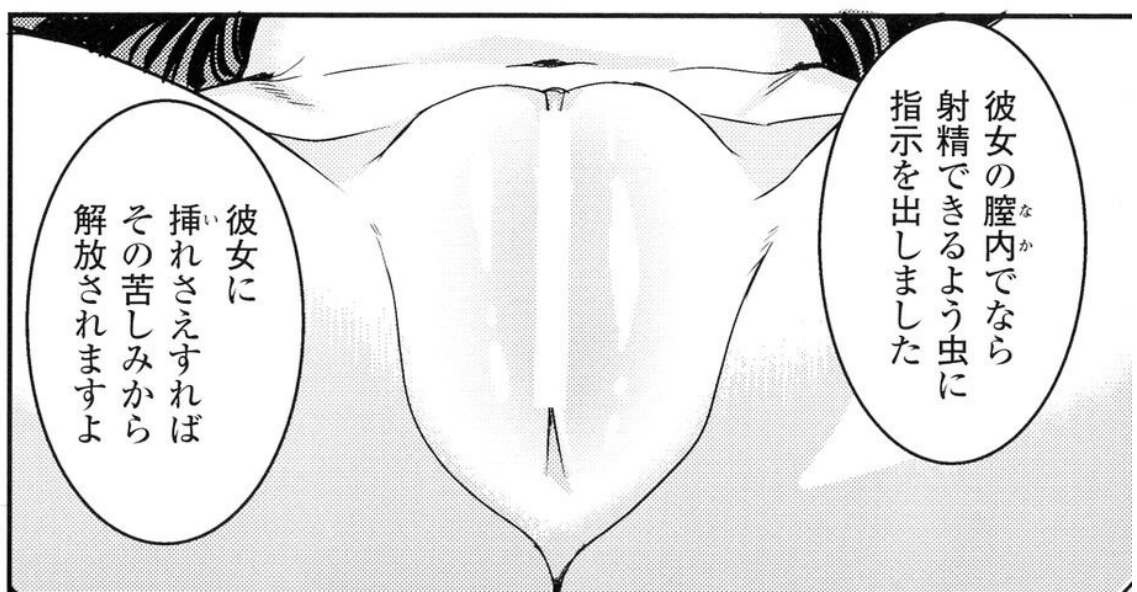
今日捕まえた
ばかりの娘です

ご自由に使って
いただいて構いません



.....

...え？



彼女の腔内^{なか}でなら
射精できるよう虫に
指示を出しました

彼女に
挿れさえすれば
その苦しみから
解放されますよ







そ…うだ…早く
抜かな…いと

おおおッ?

あッ



止ま…らない

オマンコが
きもちよすぎて

オマンコ…

腰が

止まら…ないの

えっ…
あ…?

なに…なにになに!?
お姉ちゃん誰!?
ミィアに
何してるの!?



痛…いたい
ソレ抜いてっ



あッ
ひッ
だって…こんな
キモチイイこと

あなたのッ
オッ

オマンコが
気持ち良すぎるのが
いけないのよ



はあッ…
抜くなんて
無理よっ…

なんでええ

ああまたっ
射精るッ!!

やめてって

言ってるのに

いじつ

射精するの
気持ちいい

止めっ…

ダメッ
抜いて

もっと射精
する

キモチよくなる

もっと

もっと

もっと!!

ミイアを
いじめないで

もう変なの出しちゃだ
お腹破けちゃう…

お股痛い
お家帰して

うるさいわね

アンタは黙って
マンコ締めれば
良いのよ

いじつ



さわめいて

んっ!?

おちんちん
が…



ん

あは

何っ♡

何っ♡え

おちんちん
触手になっちゃった



スゴイのくる
きちやう!!

子宮の奥まで
入ってるツ!!

ボコボコ
いってるッ

ミーアの中
引っかき回さないで

イグッ
中に出す
全部ぶちまけるっ





第2繁殖室



お久しぶりです

一月ぶりくらいですか

んあ

あ

あ

調子は
いかがですか？



魔術師さん

ああ

あ
あハハハ

……
もはや
人語も解しな
くなりましたか



……聞こえて
いないと
思いますが

淫核虫の繁殖
あなたの
おかげで
だいふ
捗りました
ありがとうございます

まあいいでしょう

お前たちは
出産間近の個体を
運び出さない

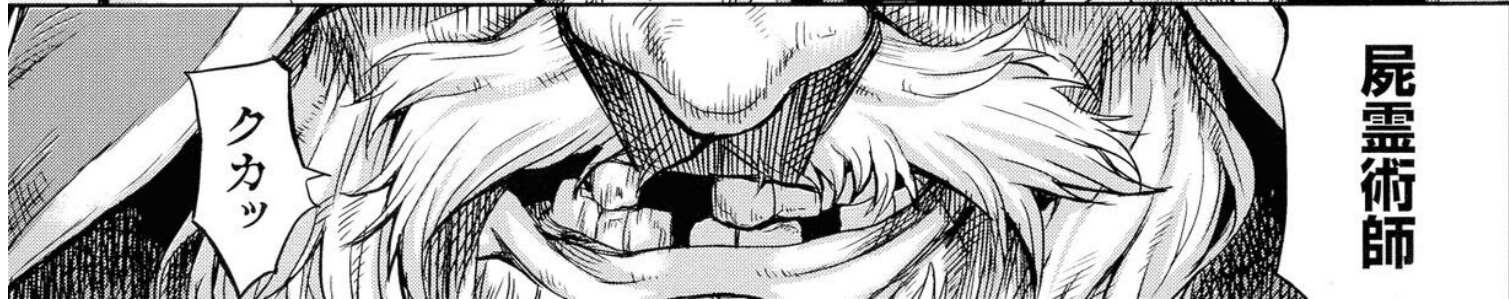
また今度
くる時

新しい娘を
連れてきます

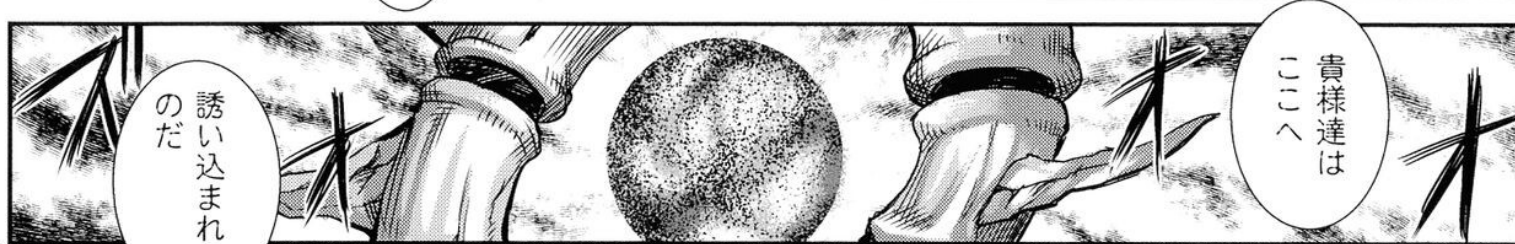
その娘も
しっかり孕ませて
下さいね

バタン
あ
END

あ
あハハハ



屍霊術師



我が同胞よ
死してなおうごめく
魂なき軀達よ

久方ぶりの客人ぞ

存分にもてなして
やろうではないか

あーちくしょう
絶体絶命ってやつ？

死ぬならリズみたいにな
ちんちくりんと
じゃなく美人と
一緒に良かったな

アラン
そんなに死にたいなら
ひとりで死んだらどう？

ライルも
この馬鹿に何か
言ってやってよ

バカヤロウ
こんな時まで
喧嘩してるんじゃないか

……ったく

ふたりとも
撤退するぞ

屍人の数が
想定していたより
多すぎる

これ以上
増える前に
囲みを突破する

アラン 爆雷術式で
出口までの道を作れ

リズ アランの
サポートを頼む

後ろは俺に任せろ

行け

了解ッ!!





これも全て
お主を助けんと
小娘が望んだ事よ

もういい
止めてくれ

俺は
どうなっても
いい

だから
彼女を

ダメッ

リズ

だめ…よライル

そんな事
言ったらだめ…

しかし
このままだとお前は

わかってる

このまま犯され続けたら
瘴気で身体が汚染されて
死んじゃうって
ことぐらい

なら

…
…ドジした私を
助けようとして
…アラン…
死んじゃった

ふたりだけなら
囲みを突破して撤退
できてたはずなのに

ライルも…
私のせいで捕まって

でも私が
ここにいる屍人
あなたは解放して
全員の相手をしたら
くれるって

私はどうなってもいい
どうせ死ぬはずだった
命だもの

ライルを助ける
ために使えるなら

だからお願い
そんなこと言わないで

くそっ

カカツ 泣かせるの

だがのんびりと話をしている
余裕があるのかの

早うせんとこの坊主
それほど長くは持たぬぞ

早く
しないと

まだあんなに
数が

ただ耐えてる
だけじゃ
間に合わない
かもしれない

それなら

こんな気持ち悪いもの
本当は触りたくもない
まして膣内に入れるなんて…

でも

ライルを
助けられるなら

ほう

屍人相手に
自ら腰を振るか

よほど坊主が
大事とみえるの

リズ…

あなたは
私が絶対に

助けてみせる



なんだ
今の感じは

何か――



そう何か決定的に
踏み外してしまったような



出したよし早く
次の屍人の相手をして――

…あつ



始まりおったか

始まった…？

何が始まったって
いう…の

小娘…いや
リズと言ったか

お主の身体の屍化が
始まったと言っておる

浮き出た呪印が
その証よ



坊主を殺さずに
おいたのは
正解だったようだ

あやつの存在が
お主が狂うことを
阻む要因と
なったのであろう



変質が始まれば
後は墮ちゆくのみ
狂う心配も
のうなる



つまり



だが
意識を保ったまま
変質まで持つ者は
稀じゃ

大抵の者は
変質が始まる前に
気が触れて
狂い死ぬからの



屍墮とし

多数の屍人と交わり
その身に瘴気を
受け続けることにより
精神は生かしたまま
身体のみを屍と化す法よ

ただの屍人とは違う
己が意思を持つ屍を
作りだすためのな



屍墮としを
続けようではないか

んくっ!?

ん

百の屍と交わり

その身の一片にいたるまで
余すところなく死で満たせ

そして
我が忠実な僕として
成り果てるが良い

リズよ

身体が…ヘン
さっきまで
気持ち悪さしか
感じなかったのに

…あつ

はあつ

お腹の奥熱いのが
うずいてきてる

身体が熱くなって

ピクッ
なんだこれは
物欲しそうに
勃起させておって

そんなに触って
欲しかったのか

ひあつ

声が出るのを
抑えられない

はっ

んあつ



これって私…
感じ…てる…の？

そんな
冗談じゃない

ひっ

んひいひい！？

こいつらは
ライルとアラジをー

バキ



おっおお

おあっ…ああ

坊主が死んだ途端に
よう鳴くではないか

二本とも美味そうに
啜こみおって

発情した雌の
匂いがココまで
漂ってきおるわ

この淫売めが

だまれ

だまっ…

うる…さい



延々と
休む間もなく続く
屍人達による陵辱に

抵抗しようという
意思も気力も
そぎ落とされていく

んぐ

んぼっ

際限なく昂ぶり続ける
身体の熱に

理性すら
飲み込まれて
溶かされていく

ライルやアランの
事でさえも

押し潰して
しまっほどの

快感に

ただただその身を
震わせることしか
できなくて

何度も何度も
絶頂へと押しやられ

喘ぐだけの

肉の塊へ
堕ちていく



これで何回目の
絶頂？

イク

またイクっ

わからないっ
わからないけど

はっ
はあっ



朦朧としていく
意識の中で

身体が死んで
いくのだけは

はっきりと感じた



粗方
終わったか



肌は生気を失い
髪は色を忘れ

濃厚な死の匂いで
溢れておる

良い

実に良い



完全に堕ちきるまで
あと一押しと
いったところか



ならば最後は
こやつらに相手を
してもらうかの



ふたりとも
屍人に…



このふたりが
相手ならお主も
嬉しかろう

あつ



ライル

ああ

ああ

アラン



お願い…止めて
ライル



っは…ダメ…



あなたにまで
犯されたら
私もう…

グッ

ダメ…
ダメダメッ



待ッ…

ああ

あつ

あつ

それだけはダメ

ピッ





子宮に直接
出て…





RED EYE SYNDROME



あいつらに
追いつかれる前に
少しでも早く
学校から逃げ…

いやあ
ああッ



誰か…誰か…

こんなの
やだ



このクラスもかよ

締め悪いな
このまんこ

6本目
あと何本入るかな

委員長の
髪コキ

ほらもっと
しゃぶれて

なんだよいったい
何が起きてんだよ

ダ
ダ
ダ
ダ

クッ

グッ

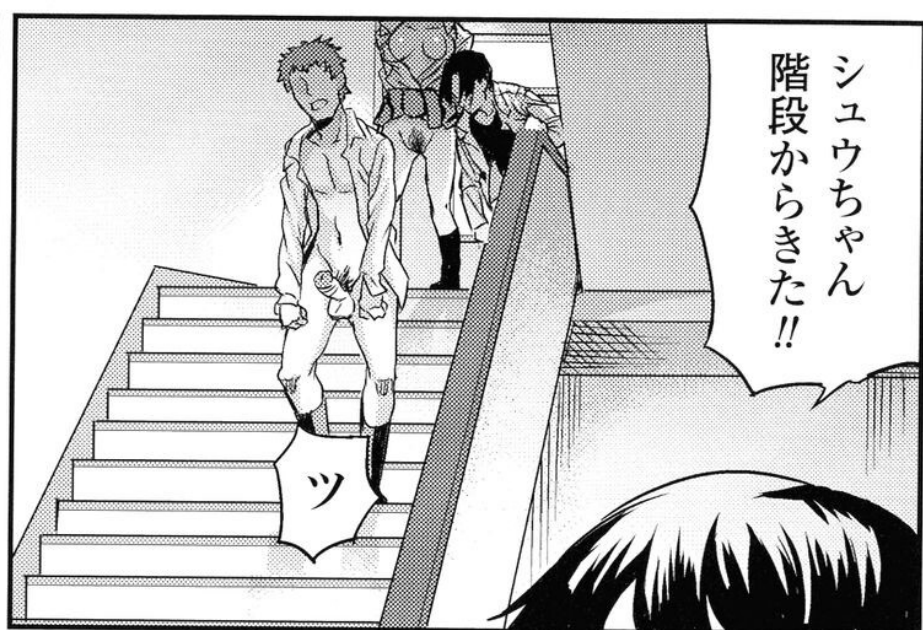
!!

ああ

いっ

クッ

やめ





運よく用具室が空いていたから
良かったものの
これからどうすりゃいい？

……

今分かってるのは
どうやらおかしくなった奴らに
襲われるとそれいつもイカれちゃう
って事だけか……

外に助けを呼ぼうにも
逃げる時にスマホ教室に
置いてきちまったし



そもそも……だ
襲われたらおかしく
なるってなんだよ

くそ
冗談じゃねえ

ん？

……どうした
綾？



あ

おい綾
うでうで

怪我してるぞ
大丈夫か？

ちょっと
見せてみる？

どこかで引っ掛けたり
でもしたか？
結構血出てるな

とにかく今は
ハンカチか何かで
傷口を

うおっ!?

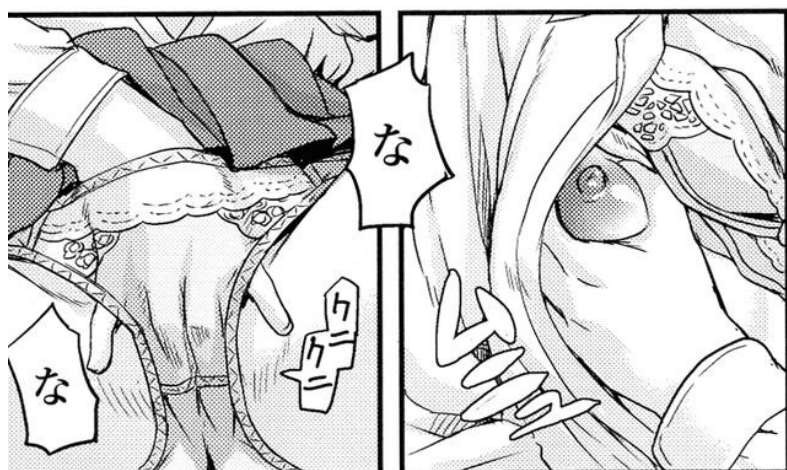
……が……
……

……

……

……











ファーストキス
シュウちゃんにあげちゃった

とっても
気持ち良かったな



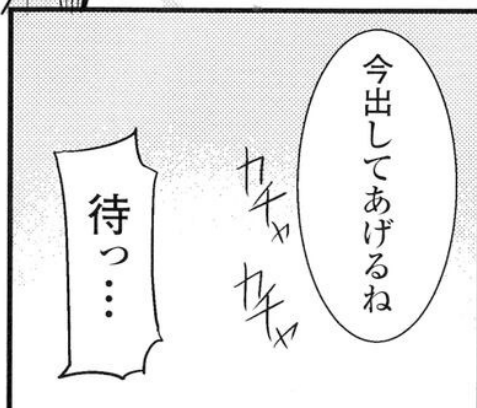
キス
初めてだった？



ふふ
シュウちゃんはさ



私はね
初めてだったよ



今出してあげるね

待つ…



ココこんなに
大きくしちゃって

シュウちゃんも
気持ち良かったん
だよ

くっ

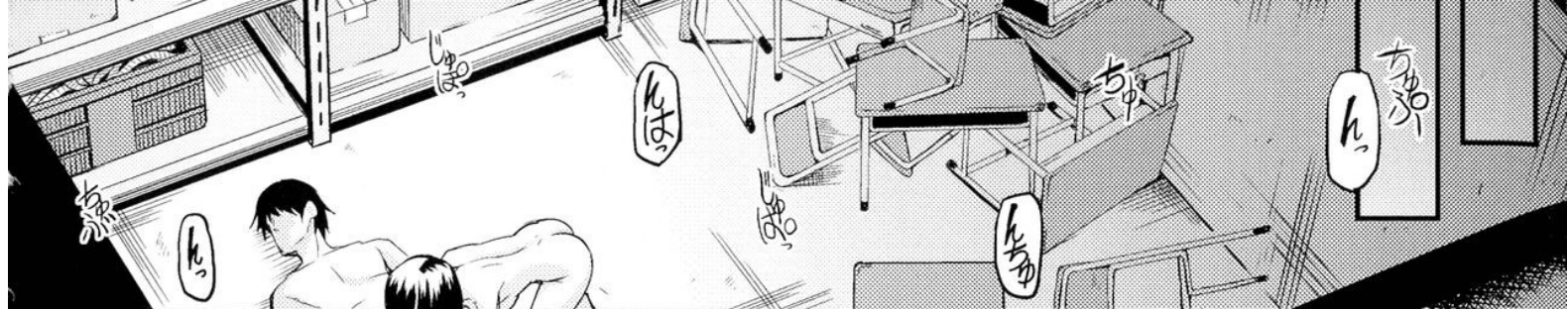












END

ドサッ



はじめまして。タケです。
単行本をお買い上げいただきありがとうございます。

自身初となる単行本ですがいかがだったでしょうか？
初作品となる淫核虫から数えて2年、長かったような短かったような。
どうにか1冊の本としてまとめられるぐらいにまで
こぎつけることができました。
これも応援してくださった皆様方のおかげだと感じております。

最後に毎回多大なご迷惑をおかけしながらも
忍耐強く支えてくださった担当編集様、
素敵なゲストイラストを描いてくださった和遥キナ先生、YOU先生、
そしてここまで読んでくださった読者の皆様方、本当に有難うございました。

これからも頑張っていきたいと思いますので
よろしくお願いいたします。

2015/9

タケ



単行本化おめでとう

友人の和遥キナより。

単行本発売!
おめでとうございますっ!



UNREALCOMICS
アンリアルコミックス

163

淫堕隷辱

2015年10月8日 初版発行

著者：タケ

発行人：岡田英健

編集人：井上真吾

編集：松石 遼

装丁：キルタイムコミュニケーション制作部

印刷所：図書印刷株式会社

発行：株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル

編集部 TEL03-3551-6147 / FAX03-3551-6146

販売部 TEL03-3555-3431 / FAX03-3551-1208

禁無断転載 ISBN978-4-7992-0796-3 C0979

©Take 2015 Printed in Japan

乱丁、落丁本の場合はお取替えいたしますので、弊社販売営業部宛てにお送りください。
定価はカバーに表示しております。

初出一覧

- ◎竜娘堕淫『コミックアンリアルVol.56』
- ◎狗鳴 前編『コミックアンリアルVol.53』
- ◎狗鳴 後編『コミックアンリアルVol.54』
- ◎森ノ中『コミックアンリアルVol.55』
- ◎孕袋『別冊コミックアンリアル 脳姦アクメ編デジタル版Vol.2』
(電子書籍先行配信)
- ◎淫核虫
.....『別冊コミックアンリアル 寄生サレタ美少女が淫ラニカワルデジタル版Vol.1』
(電子書籍先行配信)
- ◎屍堕とし『コミックアンリアルVol.49』
- ◎RED EYE SYNDROME
.....『別冊コミックアンリアル 淫欲感染編デジタル版Vol.1』
(電子書籍先行配信)

※すべて弊社刊

アンケートプレゼント
Presents
QUESTIONNAIRE

アンケートハガキにお答えくださった方の中から抽選で、直筆サイン色紙またはKTC特製テレホンカードをプレゼント!

NOW
PRINTING